

背景

OSSH事業は、先進的な理数系教育を通じた国際的に活躍する科学技術人材の育成を目的として、平成14年より事業を開始し、一定の成果を上げている。

事業開始から約20年が経過しており、多様な取組が各指定校で展開されている。

OSSH指定校としての長年の活動の成果をもとに、これまでのノウハウや特色・強みを活かし、一定の指定期間を終了した後、独自にSSH指定校の取組の自立した継続を検討している学校が出始めていることから、従来の予算支援の取組とは別に、新たに「認定枠（仮）」を創設し、科学技術人材育成のモデルとしてこれまでの研究開発の成果を基にした多様な実践活動を展開・普及することを通じて、「事業枠」と共に、SSH事業全体の取組の質の向上を図り、科学技術人材育成システム改革をより強力に推進する。



事業枠(予算支援あり)

我が国の次代を担う

科学技術人材育成システム改革を先導

- ◆ 産学官の連携等による質の高い課題研究を教育課程の中核に据えて推進するシステムの開発
- ◆ 拠点校として、周辺校と緊密に連携しながら、地域全体の科学技術人材育成をリードするシステムの開発
- ◆ 複数の国の高等学校や大学、企業等と連携した国際共同研究を通じた人材育成システムの開発 など

連携



認定枠（仮）

科学技術人材育成の全国的なモデルとして

これまでの研究開発の成果を基にした

多様な実践活動を展開・普及

- ◆ 各指定校が培ってきた特色・強みを生かした取組を展開・普及※積極的な情報発信、視察の受入れ等
 - ◆ 「SSH指定校」としての認知度・ブランドを活用
- ※対象校：一定回数以上のSSHの実績のある学校
※教育課程の特例への申請は可
※制度の運用は、令和4年度以降を想定

SSH指定校としての取組・体制等の実施・確立

- ◆ 科学的な探究活動を中核とする理数系に重点を置いたカリキュラムや取組の実施
- ◆ 自校の特色や強みを培いながら、学校全体として組織的に研究開発等に取り組む体制を確立

全国各地域において、両者が連携し、SSH事業の取組を展開一般校を含め、高等学校全体の理数系教育の充実やSTEAM教育等の探究力の育成を後押し

SSH事業全体を活性化するとともに、科学技術人材育成システム改革を強力に推進